

沖 新



同窓会長挨拶

同窓会長 来崎良輝 (19C)

まずは日頃から同窓会会員の皆様より多くの協力を頂きここに感謝の意を表します。

昨年は、東京支部会の協力の元、東京で総会を開催することができました。加椎支部長はじめ多くの方の協力により、滞りなく実施できましたこと、心より御礼申し上げます。また、佐世保、長崎、関西、福岡支部においては、支部会が執り行われ同窓会会員の皆様の活力を見させて頂きました。多くの会員の協力で会が成り立っていることを改めて確認させて頂きました。その支部会や総会の時期がロボコンの地区大会、本大会の日程と重なり、多くの会合でたくさんの寄付金等の支援を臨時に賜りました。本当にありがとうございました。その効果があったのか、地区大会をクリアし、本大会でも技術賞を頂くことにつながったのかも知れません。私は、同窓会の活性化は、支部の活性化にあると思っています。

歴代の会長が実践してきたこの流れを絶やすことなく継続し、全国に佐世保高専同窓会のまとまりと繋がりを作っていきたいと思っています。

皆様もご存じのとおり、我が母校は独立行政法人化されました。そのことから毎年予算を削減され非常に厳しい運営を強いられているところです。一方、同窓生の皆様の努力のおかげで、昨今高専卒業生の評価は社会において大きくそして高くなっています。高専不要論を現時点で払拭し、高専マインドを掲げて卒業する会員を継続して送り出す1つの力が同窓会員のまとまりだと思います。多方面で活躍されている会員間のネットワークを構築し、会が大きき力になることに是非協力を頂きたいと思います。まずは、支部会に参加ください。そして同窓会員ネットワークを作りましょう。総勢7千を超える力は決して小さいものではないはずです。加えて九州内高専さらには全国高専の繋がりも動き出しています。是非皆様の力をお貸しください。最後に、今後も同窓会活動に寛大な協力をお願いし、つたない私の挨拶と致します。

